



# 小な剣士

## 涙の御前試合

### 第二回

作画 牧秀彦  
 画 うえわ 恋

〈前号のあらすじ〉

江戸に幕府ができて二百年、戦がなくなったのは喜ばしいことだが、士官を求める浪人には生きにくい世の中になった。そんな中浪人水瀬十蔵は、曲者に襲われた井坂多門を助けたことで、井坂の藩邸に食客として住み込みこんでいる。一緒に藩邸の雑用を手伝いながら、道場で十蔵から剣を習っているのが一郎だ。町中に出た奈緒と清香、一郎たち姉弟が札付きの連中に絡まれると……。

一

「けがはないか、駒場くん」

「は……はい」

「大人を相手に二度と無茶をしてはいけないよ。いいね」